

Japanese Association of Veterinary Anatomists

News letter

Number 8

日本獣医解剖学会報

Oct.1995

日本獣医解剖学会発足

かねてから議論が続いていた解剖学分科会は、第119回の日本獣医学会の分科会でその名称を日本獣医解剖学会と改称して発足することを決めた。獣医学会の理事会に届出て、総会で承認を受けた。従って、構成員数や予算の配分(本紙2頁参照)についても、病理学会と同様獣医解剖学会と呼ばれる。

このニュースレターも通算8号であるが、本号から「日本獣医解剖学会報」と明記することにした。

名称はこのように立派(?)な学会となったが、実態は従来の分科会のみである。選挙結果の開票の結果により左記の役員がそのまま学会の役員ということになった。

- 会長 牧田登之(山口大)
- 副会長 林 良博(東大)
- 副会長 山田純三(帯広大)
- 幹事 月瀬東(日大)
- 幹事 谷口和之(岩手大)
- 理事 西中川駿(慶大)
- 上原正人(鳥大)
- 九郎九正道(東大)

いずれも前号に掲載してある会則(案)に大略依ったものである。一人前の学会として認められるためには、現在日本解剖学会の社団法人化(10月23日東京医科大学での評議員会は37名出席で成立、引続き設立総会で承認された)で行われているような手続きが将来必要である。会誌発行が先ず必要になるので下記のような案を検討中である。会費は目下のところ無料だが、学会として成立させるには有料化し

有嶋和義(麻布大)

岩永敏彦(北大)

佐藤英明(東大)

鈴木義孝(岐阜大)

山野秀二(日獣大)

浅利将男(麻布大)

江口保暢(麻布大)

岡野真臣(日大)

波辺 徹(名大)

木曾康郎(府大)

醍醐正之(日獣大)

橋本善春(北大)

平賀武夫(酪農大)

村上隆之(宮崎大)

和栗秀一(北里大)

なければならぬようである。

名譽会員賞を贈呈

今回の日本獣医解剖学会の発足に当たって、加藤嘉太郎先生(福岡市城南区茶山六丁目8の10)、保田幹男先生(名古屋市中緑区鳴海山の神25)及び日本獣医学会から名譽会員に選ばれた望月公子先生(静岡県三島市東本町2の11の45)と工藤宜夫先生(札幌市中央

区南2条西18丁目291の34)の四会員に名譽会員になっていただいた。これを記念して、左の写真にある(加藤先生、第一号の例)ようなエムブレムを贈呈した。

名譽会員の諸先生のうち加藤先生は御歳のため自宅で静養されているが、第二号・第四号の三先生はいずれもお元気活躍しておられ、慶ばしい限りである。

和栗秀一(北里大)



日本獣医解剖学会 英文学会誌企画案

- 発行所 (交渉中) Churchill Livingstone
- サイズ A 4 変形 (280mm×210mm)
- 表紙 3色刷 200g/m用紙
- 本文 アート紙 105g/m
- 員数 毎号100頁程度
- 回数 季刊又は隔月刊
- 発行部数 1,000部
- 価格 未定 (一部4,000円?)

学会所属研究団体別会員数 (平成7年8月1日現在)

研究団体	正会員	学生会員	計
解剖	229	46	275
病理	727	30	757
寄生虫病	190	13	203
微生物	830	57	887
家禽疾病	150	8	158
公衆衛生	236	21	257
臨床繁殖	217	16	233
臨床	721	52	773
生理・生化	267	18	285
薬理・毒性	224	14	238
実験動物	103	2	105
計	3,894	277	4,171
所属なし	126	1	127
合計	4,020	278	4,298

すでに公表されているように、今回の獣医解剖学会の演題発表数は口演45題とポスター17題の合計62題である。鳥取大学の上原先生をはじめとする解剖学教室の皆さんの御世話により準備が整いました懇親会も開催される。鳥取グランドホテルで開かれる懇親会には70、80名の参加と40名程度の合宿申込があると言います。11月10日午後6時から。な

第V会場
分科会の時から継続している解剖学教育のシンポは今回からオリジナルな組織学教科書の準備にむけて具体的な討議にはいる。話題提供予定者は岩永敏彦(北大)、木曾康郎(府大)会員等。

第120回 日本獣医学会(鳥取県文化会館)

11月10日
~
11月12日

THE MERCK VETERINARY MANUAL

メルク 獣医マニュアル

監修 牧田登之、山根義久 翻訳者46名

■体裁 A5判、1950頁、上製本/ケース入 定価20,600円、送料520円
動物の健康に関する情報をコンパクトにまとめた平引書



第7版

株式会社学窓社 TEL.03-3818-8701 FAX.03-3818-8704

平成7年度学会所属研究団体予算配分額

項目	①		②		①+②	配分額計
	定数配分額	所属会員数	比率(%)	比率配分額		
日本獣医解剖学会	59,090	275	6.593	42,855	101,945	① 所属会員数は、平成7年8月1日付け現在。 ② 定数配分額は、本年度予算額の2分の1の額とし、その額を11分科会に配分した。 ③ 送料等は、通信運搬費の支出科目から支出。 ④ 平成7年度予算額は、1,300,000円である。
日本獣医病理学会	59,090	757	18.149	117,970	177,060	
寄生虫病学分科会	59,090	203	4.866	31,629	90,719	
微生物学分科会	59,090	887	21.265	138,225	197,315	
家禽疾病学分科会	59,090	158	3.790	24,635	83,725	
公衆衛生学分科会	59,090	257	6.161	40,047	99,137	
臨床繁殖学分科会	59,090	233	5.586	36,310	95,400	
臨床分科会	59,090	773	18.532	120,460	179,550	
生理・生化学分科会	59,090	285	6.832	44,409	103,499	
日本比較養殖学・畜性学会	59,090	238	5.706	37,090	96,180	
実験動物医学研究会	59,090	105	2.520	16,380	75,470	
小計	649,990	4,171	100.000	650,010	1,300,000	
不特定(無所属)	0	127	0	0	0	
合計	649,990	4,298	100.000	650,010	1,300,000	

定評！解剖シリーズ	
犬の解剖アトラス	B4変型判/200頁 定価20600円 村上文一 監訳
新編犬の解剖学	B5判/960頁 定価30900円 望月公子 監訳
猫の解剖学	A4判/340頁 定価25750円 野野真直 監訳
猫の解剖図説	A4変型判/130頁 定価13390円 牧田登之 監訳
組織と器官・走査電顕図譜	A4変型判/317頁 定価15000円 牧田登之 監訳
兎の解剖図譜	B5判/240頁 定価10090円 望月公子 監訳
ラットの解剖図譜	B5判/230頁 定価22600円 望月公子 監訳
家畜発生学	B5判/385頁 定価13390円 牧田登之 監訳
マウスの発生アトラス	A4変型判/190頁 定価13300円 牧田登之 監訳
獣医組織学	A4変型判/360頁 定価15450円 牧田登之 監訳
小動物のがん化学療法	B5変型判/224頁 定価72100円 藤本徹 監訳
小動物の内分泌マニュアル	A4変型判/190頁 定価123600円 阿久沢正夫、村上慶一 監訳

株式会社学窓社
〒113 東京都文京区西片2-1-16-120
TEL.03-3818-8701
FAX.03-3818-8704

世界獣医学大会(横浜)の

ニュース

★ MATSURIに象徴され

た華やかなWVC大会
 アジアではじめてという世界
 獣医学大会(WVC)は、9月3
 日に両陛下をお迎えしてはな
 やかな開会式でスタートし、ジ
 ャパンフェスティバル「祭」など
 数々のイベントをはさんで9月
 9日まで横浜の国際会議場でひ
 らかれた。予想を千人余りも超
 えて8千名(うち外国人千二百
 名位)内外の参加者がみられた。
 商業展示、出版社のブースも、
 広い会場に展開されていた。
 次回はフランスのリヨンで四
 年後に開催される予定である。

★ WAVAの総会と選挙開票 が行われた。

9月6日に解剖の一般演題が
 終わった会場でWAVAの総会が
 ひらかれた。受付けなどは、九
 郎丸(東大)、木村(日大) 両
 先生がして下さった。全体の準
 備は西田先生(日大)がされた。
 EVANS教授の不参加で、急
 拠WEBER名誉教授(ミネソ
 タ大)が議長をされる予定であ
 ったが会場に来られなかったの
 で即席BUDRAS(ベルリン

大)とBARONE(リヨン大)

先生に代行していただいた。会
 長はSMALLWOOD(米)
 が接戦でBUDRAS(独)に
 勝ち、アジア地区の副会長はイ
 ンドからの候補を圧倒して林良
 博教授(東大)が席を占めた。セ
 クレタリーにはベルギーのWE
 YNS会員がえらばれている。
 総じてUSAからの参加がき
 わめて低調で、欧州勢の積極的
 な参加が目立った。
 いずれにしても、接待役の日
 本の会員はごくろう様でした。

★ ミニシンポジウム 「野生動物の解剖学」

9月7日 座長 牧田登之(山大)
 EVANS教授(USA)が
 病床にあり不参加になったので
 BARON教授(仏)の持時間を
 倍にして五題でしのいだ。広い
 会場を55名位の聴衆ではじまり
 心配したが次第に120~130名にふ
 えて無事(?)に終わることがで
 きた。

★ 一般発表とポスター

解剖学の一般発表演題は27題
 でポスターセッションは14題、
 ビデオが1題であった。

第121回日本獣医学会シンポジウム予定(各2時間30分)

時間	演題	発表者
10:00-11:30	一般発表(1)	牧田登之(山大)
11:30-13:00	一般発表(2)	西田隆雄(日大)
13:00-14:30	一般発表(3)	岩佐憲一(酪農大)
14:30-16:00	一般発表(4)	岡野真臣(日大)
16:00-17:30	一般発表(5)	岩谷口和之(岩手大)
17:30-19:00	一般発表(6)	小川和重(岩手大)
19:00-20:30	一般発表(7)	橋本善春(北大)
20:30-22:00	一般発表(8)	村上隆之(宮崎大)
22:00-23:30	一般発表(9)	山内昭二
23:30-01:00	一般発表(10)	林良博(東大)
01:00-02:30	一般発表(11)	小暮現夫(日大)
02:30-04:00	一般発表(12)	浅利将男(麻布大)

第121回日本獣医学会時間表(案)

時間	会場	内容
9:00-10:00	国際会議場	開会式
10:00-11:30	国際会議場	シンポジウム
11:30-13:00	国際会議場	一般発表
13:00-14:30	国際会議場	一般発表
14:30-16:00	国際会議場	一般発表
16:00-17:30	国際会議場	一般発表
17:30-19:00	国際会議場	一般発表
19:00-20:30	国際会議場	一般発表
20:30-22:00	国際会議場	一般発表
22:00-23:30	国際会議場	一般発表
23:30-01:00	国際会議場	一般発表
01:00-02:30	国際会議場	一般発表
02:30-04:00	国際会議場	一般発表

「次回獣医学会の予定概要」

一般演題のキャンセルは心配
 されたほどではなかったが、ポ
 スターセッションは半数近くキ
 ャンセルが目立った。

★ WAVAの懇親会

西田隆雄教授(日大、前WAV
 Aアジア地域副会長)のお世話
 で横浜の中華街にあるレストラ
 ンで9月6日にディナーパ
 ーティーがひらかれた。日本人会員
 16名と同伴者(別表) および参
 加しないで賛助金だけ出した四
 名の会員、養賢堂、近代出版、フ
 アームプレス三社の賛助金によ
 って盛大な立食パーティーとな
 り、BUDRAS(独)、BAR



- ★ 望月先生、山内先生などのO
 Bの会員の御参加や、同伴者を
 連れて来ていただいた会員のお
 かけで雰囲気盛り上がったよ
 うに思われる。タイ、インドネシ
 ア、エジプト、などからの若い各
 員も大いに楽しんでいただいた。
- ★ WAVA招宴会(敬称略)
- ★ 九郎丸正道(東大)
- ★ 柴田秀史(農工大)
- ★ 西田隆雄(日大)
- ★ 岡野真臣(日大)
- ★ 牧田登之(山口大)
- ★ 山田純三(帯広大)
- ★ 和栗秀一(北里大)
- ★ 西中川駿(鹿大)
- ★ 眞鍋昇(京大)
- ★ 月瀬東(日大)
- ★ 木村順平(日大)
- ★ 岩佐憲一(酪農大)
- ★ 谷口和之(岩手大)
- ★ 小川和重(岩手大)
- ★ 橋本善春(北大)
- ★ 村上隆之(宮崎大)
- ★ 山内昭二
- ★ 林良博(東大)
- ★ 小暮現夫(日大)
- ★ 浅利将男(麻布大)

(*)印は賛助金のみ不参加

人物往来

おめでとうございました!!

○麻布大学

有嶋和義先生 教授昇任

浅利 教授昇任

○東京農工大学解剖学教授決定

神田尚俊先生(東京女子医大より)

大より) 小川 和重(岩手大)

○日本解剖学会の評議員承認

大泰司紀之(北大)

山田 純三(帯広大)

岩佐 憲二(酪農大)

竹花 一成(酪農大)

上原 正人(鳥取大)

西中川 駿(鹿大)

岩永 敏彦(北大)

橋本 善春(北大)

山口 和人(山医大)

萬場 光一(山大)

森川 嘉夫(府大)

柴田 秀史(農工大)

「発生学用語 組織学用語」 の改訂の草稿準備なる。

一九九三年に初版を上梓した「獣医発生学用語」と「獣医組織学用語」はいずれ「解剖学用語」と合冊する目的で、また分科会編を獣医解剖学会編とする必要も生じたので、改訂の準備を進めてきた。三月三十一日の総会で選出した委員の方々の御努力で最終段階にはいつているので、明年には印刷配布することができると見通してある。

また今回来日されたチューリッヒ大学のFREWEIN教授(3頁の写真前列左から4人目)の要請により、国際用語委員に谷口和之(組織用語、岩手大)および山本雅子(発生学用語、麻布大)先生になっていただいた。いずれも見上晋一先生と、江口保暢先生の後任としてである。

また今回来日されたチューリッヒ大学のFREWEIN教授(3頁の写真前列左から4人目)の要請により、国際用語委員に谷口和之(組織用語、岩手大)および山本雅子(発生学用語、麻布大)先生になっていただいた。いずれも見上晋一先生と、江口保暢先生の後任としてである。

また今回来日されたチューリッヒ大学のFREWEIN教授(3頁の写真前列左から4人目)の要請により、国際用語委員に谷口和之(組織用語、岩手大)および山本雅子(発生学用語、麻布大)先生になっていただいた。いずれも見上晋一先生と、江口保暢先生の後任としてである。

また今回来日されたチューリッヒ大学のFREWEIN教授(3頁の写真前列左から4人目)の要請により、国際用語委員に谷口和之(組織用語、岩手大)および山本雅子(発生学用語、麻布大)先生になっていただいた。いずれも見上晋一先生と、江口保暢先生の後任としてである。

また今回来日されたチューリッヒ大学のFREWEIN教授(3頁の写真前列左から4人目)の要請により、国際用語委員に谷口和之(組織用語、岩手大)および山本雅子(発生学用語、麻布大)先生になっていただいた。いずれも見上晋一先生と、江口保暢先生の後任としてである。

また今回来日されたチューリッヒ大学のFREWEIN教授(3頁の写真前列左から4人目)の要請により、国際用語委員に谷口和之(組織用語、岩手大)および山本雅子(発生学用語、麻布大)先生になっていただいた。いずれも見上晋一先生と、江口保暢先生の後任としてである。

また今回来日されたチューリッヒ大学のFREWEIN教授(3頁の写真前列左から4人目)の要請により、国際用語委員に谷口和之(組織用語、岩手大)および山本雅子(発生学用語、麻布大)先生になっていただいた。いずれも見上晋一先生と、江口保暢先生の後任としてである。

また今回来日されたチューリッヒ大学のFREWEIN教授(3頁の写真前列左から4人目)の要請により、国際用語委員に谷口和之(組織用語、岩手大)および山本雅子(発生学用語、麻布大)先生になっていただいた。いずれも見上晋一先生と、江口保暢先生の後任としてである。

また今回来日されたチューリッヒ大学のFREWEIN教授(3頁の写真前列左から4人目)の要請により、国際用語委員に谷口和之(組織用語、岩手大)および山本雅子(発生学用語、麻布大)先生になっていただいた。いずれも見上晋一先生と、江口保暢先生の後任としてである。

また今回来日されたチューリッヒ大学のFREWEIN教授(3頁の写真前列左から4人目)の要請により、国際用語委員に谷口和之(組織用語、岩手大)および山本雅子(発生学用語、麻布大)先生になっていただいた。いずれも見上晋一先生と、江口保暢先生の後任としてである。

また今回来日されたチューリッヒ大学のFREWEIN教授(3頁の写真前列左から4人目)の要請により、国際用語委員に谷口和之(組織用語、岩手大)および山本雅子(発生学用語、麻布大)先生になっていただいた。いずれも見上晋一先生と、江口保暢先生の後任としてである。

また今回来日されたチューリッヒ大学のFREWEIN教授(3頁の写真前列左から4人目)の要請により、国際用語委員に谷口和之(組織用語、岩手大)および山本雅子(発生学用語、麻布大)先生になっていただいた。いずれも見上晋一先生と、江口保暢先生の後任としてである。

また今回来日されたチューリッヒ大学のFREWEIN教授(3頁の写真前列左から4人目)の要請により、国際用語委員に谷口和之(組織用語、岩手大)および山本雅子(発生学用語、麻布大)先生になっていただいた。いずれも見上晋一先生と、江口保暢先生の後任としてである。

また今回来日されたチューリッヒ大学のFREWEIN教授(3頁の写真前列左から4人目)の要請により、国際用語委員に谷口和之(組織用語、岩手大)および山本雅子(発生学用語、麻布大)先生になっていただいた。いずれも見上晋一先生と、江口保暢先生の後任としてである。

また今回来日されたチューリッヒ大学のFREWEIN教授(3頁の写真前列左から4人目)の要請により、国際用語委員に谷口和之(組織用語、岩手大)および山本雅子(発生学用語、麻布大)先生になっていただいた。いずれも見上晋一先生と、江口保暢先生の後任としてである。

また今回来日されたチューリッヒ大学のFREWEIN教授(3頁の写真前列左から4人目)の要請により、国際用語委員に谷口和之(組織用語、岩手大)および山本雅子(発生学用語、麻布大)先生になっていただいた。いずれも見上晋一先生と、江口保暢先生の後任としてである。

また今回来日されたチューリッヒ大学のFREWEIN教授(3頁の写真前列左から4人目)の要請により、国際用語委員に谷口和之(組織用語、岩手大)および山本雅子(発生学用語、麻布大)先生になっていただいた。いずれも見上晋一先生と、江口保暢先生の後任としてである。

また今回来日されたチューリッヒ大学のFREWEIN教授(3頁の写真前列左から4人目)の要請により、国際用語委員に谷口和之(組織用語、岩手大)および山本雅子(発生学用語、麻布大)先生になっていただいた。いずれも見上晋一先生と、江口保暢先生の後任としてである。

編集後記

前号で予告した通り、3月31日の分科会で、「学会」と称することに決まった。

獣医師会が一大事業として横浜で開催した世界獣医学大会も天皇皇后両陛下を迎えた開会式(〇)から、閉会式(〇)までであったと言った。JAVVAとしてはフリーペーパー(二)般講演、ミニシンポジウム(野生動物の解剖)、ポスター、として参加した他WAVAの総会と懇親会をひらいた。WAVA副会長に林良博教授(東大)が当選。これまでの西田隆雄教授(日大)の後を継いだ。両会員にメールを送りたい。

残念なことにエバンス教授(Cooper)が肝臓を患い来日されなかった。一日も速い御回復を祈るばかりである。残念といえば前号で予告したサテライトシンボ(野生動物の解剖、東大七号館)は迷に断念した。準備をしておいた下された各位には御迷惑をおかけし、心からお詫び申上げる。解剖学会百年記念事業にはシンポジウムで協賛し、教室百年史などにも寄稿していただいた。改めて御礼申し上げます。

また今回来日されたチューリッヒ大学のFREWEIN教授(3頁の写真前列左から4人目)の要請により、国際用語委員に谷口和之(組織用語、岩手大)および山本雅子(発生学用語、麻布大)先生になっていただいた。いずれも見上晋一先生と、江口保暢先生の後任としてである。

また今回来日されたチューリッヒ大学のFREWEIN教授(3頁の写真前列左から4人目)の要請により、国際用語委員に谷口和之(組織用語、岩手大)および山本雅子(発生学用語、麻布大)先生になっていただいた。いずれも見上晋一先生と、江口保暢先生の後任としてである。

また今回来日されたチューリッヒ大学のFREWEIN教授(3頁の写真前列左から4人目)の要請により、国際用語委員に谷口和之(組織用語、岩手大)および山本雅子(発生学用語、麻布大)先生になっていただいた。いずれも見上晋一先生と、江口保暢先生の後任としてである。

また今回来日されたチューリッヒ大学のFREWEIN教授(3頁の写真前列左から4人目)の要請により、国際用語委員に谷口和之(組織用語、岩手大)および山本雅子(発生学用語、麻布大)先生になっていただいた。いずれも見上晋一先生と、江口保暢先生の後任としてである。

また今回来日されたチューリッヒ大学のFREWEIN教授(3頁の写真前列左から4人目)の要請により、国際用語委員に谷口和之(組織用語、岩手大)および山本雅子(発生学用語、麻布大)先生になっていただいた。いずれも見上晋一先生と、江口保暢先生の後任としてである。

また今回来日されたチューリッヒ大学のFREWEIN教授(3頁の写真前列左から4人目)の要請により、国際用語委員に谷口和之(組織用語、岩手大)および山本雅子(発生学用語、麻布大)先生になっていただいた。いずれも見上晋一先生と、江口保暢先生の後任としてである。

また今回来日されたチューリッヒ大学のFREWEIN教授(3頁の写真前列左から4人目)の要請により、国際用語委員に谷口和之(組織用語、岩手大)および山本雅子(発生学用語、麻布大)先生になっていただいた。いずれも見上晋一先生と、江口保暢先生の後任としてである。

また今回来日されたチューリッヒ大学のFREWEIN教授(3頁の写真前列左から4人目)の要請により、国際用語委員に谷口和之(組織用語、岩手大)および山本雅子(発生学用語、麻布大)先生になっていただいた。いずれも見上晋一先生と、江口保暢先生の後任としてである。

また今回来日されたチューリッヒ大学のFREWEIN教授(3頁の写真前列左から4人目)の要請により、国際用語委員に谷口和之(組織用語、岩手大)および山本雅子(発生学用語、麻布大)先生になっていただいた。いずれも見上晋一先生と、江口保暢先生の後任としてである。

(編集子)

お願い

新しい獣医組織学の教科書をつくるために

一次回(第12回)の学会でのシンポジウムの演者を公募します。

ぜひ積極的な御意見を発表して下さい。(一人15分程度)

二スライド、図、写真、または標本で、テキストに掲載する

のに良いと思われるものを御提供下さい。いずれも山口大学

畜解剖教室まで

畜解剖教室まで

畜解剖教室まで

畜解剖教室まで

畜解剖教室まで

(編集子)